

プログラム

2026 年 6 月 13 日 (土)

第 1 会場 (広尾ホール)

開会式	9:15 ~ 9:25
会長講演 赤十字看護のマインドを未来へ 繋ぐ 育む 拓く 演者：佐々木 幾美 (日本赤十字看護大学 看護学部 看護学科 教授) 座長：原 玲子 (日本赤十字東北看護大学 学長)	9:30 ~ 10:30
教育講演 1 我が国の社会・社会保障と赤十字の看護 演者：鈴木 俊彦 (日本赤十字社 副社長) 座長：江本 リナ (日本赤十字看護大学 看護学部 学部長)	10:45 ~ 11:45
特別講演 赤十字看護のマインド：大切にしたいもの・こと・ひと 演者：川嶋 みどり (日本赤十字看護大学 名誉教授、健和会臨床看護学研究所 所長) 座長：守田 美奈子 (日本赤十字看護大学 基礎看護学 教授・学長)	14:15 ~ 15:15
テーマセッション I ICT を活用した遠隔看護の現状と課題 座長：石原 美和 (神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部人間総合科 教授)	15:30 ~ 17:00
TS1-1 瀬戸内海島嶼部の在宅看取りにおける ICT を用いた遠隔死亡診断補助の実践 黒崎 亜耶 (神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科 保健福祉学専攻 博士前期課程)	
TS1-2 地域におけるテレナーシングの実態とみやぎテレナース育成プログラムの成果 千葉 洋子 (宮城大学 看護学群)	
TS1-3 看護領域における ICT 導入推進の政策の動向 初村 恵 (厚生労働省)	

第 2 会場 (201 教室)

ランチョンセミナー 1 座長：佐伯 久美 (古河赤十字病院)	12:00 ~ 13:00
LS1 看護師の採用に向けた SNS 活用の実際と課題 間瀬 照美 (横浜市立みなと赤十字病院 副院長兼看護部長)	

共催：株式会社メドエックス

口演発表 1 群 看護継続教育・災害看護**15:30 ～ 16:30**

座長：佐々木 京子（総合病院 三原赤十字病院 看護部 看護部長）

- 01-1 多視点映像教材を用いたインシデント発生事例分析の集合研修評価
川西 美佐（日本赤十字広島看護大学）
- 01-2 ラダー申請準備のための「ナラティブの書き方指導」確立のための取り組み
小林 美香子（伊勢赤十字病院 看護部（兼）教育研修推進室）
- 01-3 病棟での看護に活かせる口腔ケア教育への取り組み
尾崎 暢子（福岡赤十字病院）
- 01-4 ケーススタディを用いた 2 年目看護師の継続教育について
明 真由美（函館赤十字病院）
- 01-5 脳外科急性期病棟における災害時の避難誘導についての問題の明確化
堀 佳菜子（大津赤十字病院 6 階西病棟）
- 01-6 被災経験のある地域在住高齢者の防災意識を高める災害看護授業に関する一考察
安倍 藤子（仙台赤門短期大学 看護学科）

第 3 会場（301 教室）**ランチョンセミナー 2****12:00 ～ 13:00****DX 化に向けた実習記録の受け入れ準備～定義の共有と DX 推進に向けたカウントダウン～**

座長：藤田 比左子（株式会社永和システムマネジメント）

- LS2 看護学実習 DX 本格始動へ：蓄積された記録を教育のエビデンスへ変えるデータ活用術
羽根田 洋（株式会社永和システムマネジメント）
藤田 比左子（株式会社永和システムマネジメント）

共催：株式会社永和システムマネジメント

第 4 会場（202 教室）**ランチョンセミナー 3****12:00 ～ 13:00**

座長：池田 美里（日本赤十字社医療センター 看護副部長）

- LS3 大規模災害に備えるー慢性呼吸器疾患患者の災害時対応を支える教育と実践ー
佐野 裕子（順天堂大学大学院 医療看護学研究科 臨床病態学分野 リハビリテーション系）

共催：帝人ヘルスケア株式会社

口演発表 2 群 看護管理・人事システム**15:30 ～ 16:30**

座長：松澤 由香里（北見赤十字病院 感染管理室 感染管理室副室長）

- 02-1 内視鏡・放射線両領域対応を目指した看護体制の再構築 ～教育体制と勤務体制の見直し～
高松 直子（横浜市立みなと赤十字病院）
- 02-2 外来における応援体制強化を目的としたジョブローテーション導入の取り組み
小見 麗（北見赤十字病院）
- 02-3 感染対策委員会を軸とした老健における感染管理体制の構築
津田 佐都子（介護老人保健施設しおん）
- 02-4 病棟機能転換に伴う看護業務プロセスの再設計
谷藤 幸好（仙台赤十字病院 看護部）
- 02-5 看護師主導による退院決定プロセスの確立と病床管理への効果
齋藤 昌子（仙台赤十字病院）
- 02-6 当院における人事交流システムの活用
奥田 裕子（石巻赤十字病院）

第 5 会場（206 教室）**ランチョンセミナー 4****12:00 ～ 13:00**

座長：竹谷 隆司（株式会社日本経営）

- LS4 やらされ研修を過去にする
～学習データと生の声から導く、成果と定着がいい看護チームを作る教育システム～
竹谷 隆司（株式会社日本経営）

共催：株式会社日本経営

交流セッション 1**15:30 ～ 17:00**

主催者：日本赤十字看護学会 国際活動委員会

多文化な日常生活がつながり持続可能な防災－在留外国人への支援－
秋江 百合子（元日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）

第 6 会場（207 教室）**交流セッション 2****15:30 ～ 17:00**

主催者：日本赤十字看護学会 臨床看護実践開発事業

ACP の本質的な意味を問いなおす～「進めること」が目的になっていないか～
楠見 和子（宮崎大学医学部附属病院）

第7会場（208教室）

ランチョンセミナー5

12:00～13:00

座長：横田 英典（古河赤十字病院 院長）

LS5 患者と向き合う「余白」の創出～チームコンパス導入で体現する赤十字看護のマインド～

安藤 恵理（伊勢赤十字病院 副看護部長）

駒田 香苗（姫路赤十字病院 看護部長）

共催：株式会社イノシア

交流セッション3

15:30～17:00

主催者：日本赤十字看護学会 研究活動委員会

はじめての質的統合法（KJ法）－分析ステップの体験を通して－

服部 智子（日本赤十字広島看護大学）

第8会場（209教室）

示説発表1群

P1-1 複数の部署で協働して行う小児の術前プレパレーションに向けての学習会（1報）

後藤 美名子（日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院）

P1-2 複数の部署で協働して行う小児の術前プレパレーションを定着するための課題（2報）

八田 恵利（日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院）

P1-3 A病院における「A病院のこども憲章」作成後の看護実践の取り組み（第2報）

三枝 幸子（高松赤十字病院）

P1-4 「美しく」介助するということー今に受け継ぐ日赤式分娩介助の実践報告ー

水村 友香（日本赤十字社助産師学校）

P1-5 初めての子どもを持つ妊娠後期の夫婦における家事分担の実態と家事分担満足に関連要因

千葉 朝子（日本赤十字豊田看護大学 看護学部 看護学科）

P1-6 男子学生における低用量ピルの知識と認識の実態とその要因

佐藤 玖弥（日本赤十字看護大学 看護学部）

P1-7 認知症高齢者の家族介護者が抱く仕事と介護への思いと求めるサポートに関する文献レビュー

太田 愛実（日本赤十字看護大学 看護学部 看護学科）

P1-8 加齢性難聴を有する高齢者のケアニーズとケアの現状に関するスコーピング・レビュー

白見 史恵（日本赤十字看護大学 看護学部）

P1-9 老いが深まった高齢者への看護実践における看護師の主体性の因子構造の検討

近藤 香苗（日本赤十字豊田看護大学）

P1-10 失禁関連皮膚炎の予防ケアの標準化に向けた教育体制の構築

三浦 和美（横浜市立みなと赤十字病院）

P1-11 看護師長が捉えた中堅看護師リーダーシップ育成支援のための看護師長研修における学び

村田 由香（日本赤十字広島看護大学 看護学部）

- P1-12 赤十字看護の概念分析（その1）：属性に関する一考察
本庄 恵子（日本赤十字看護大学 看護学部）
- P1-13 赤十字看護の概念分析（その2）：先行要件に関する一考察
村田 由香（日本赤十字広島看護大学）
- P1-14 赤十字看護の概念分析（その3）：帰結に関する一考察
石母田 由美子（日本赤十字 東北看護大学）
- P1-15 看護学生が就職後の先輩看護師との関係構築に抱く思い
森 勇斗（日本赤十字看護大学 さいたま看護学部）
- P1-16 看護学生の専門職としてのアイデンティティ形成に関する研究の現状と課題
吉田 みつ子（日本赤十字看護大学さいたま看護学部）
- P1-17 コミュニティケアに関する学習の充実に向けた取り組み：フィールドワークでの学び
松本 佳子（日本赤十字看護大学さいたま看護学部）
- P1-18 「私のキャリアプラン」における学生の達成状況とキャリアビジョンに与える影響
鈴木 美里（日本赤十字東北看護大学 看護学部）
- P1-19 日本のがん看護教育実践における教育意図と評価の整合に関する文献検討
糸川 紅子（日本赤十字東北看護大学）
- P1-20 分娩を取り扱う助産所で母性看護学実習を受け入れた助産師の体験
服部 弓子（目白大学 看護学部）
- P1-21 計量テキスト分析に基づく看護基礎教育におけるがん看護に関する研究報告の動向
梅野 華乃子（日本赤十字東北看護大学 看護学部 看護学科）

第9会場（211 教室）

示説発表2群

- P2-1 日赤広尾地区防災プロジェクトの活動報告：地域連携による住民参加型イベントの10年のあゆみ
織方 愛（日本赤十字看護大学）
- P2-2 東日本大震災被災地域での保健師・住民のニーズに応じた赤十字救急法等の普及活動
園田 裕子（日本赤十字北海道看護大学）
- P2-3 東日本大震災復興支援における赤十字幼児安全法講習の継続的実践
前田 陽子（日本赤十字北海道看護大学）
- P2-4 A大学の海外活動における安全管理の現状と課題
高木 理桜（石巻赤十字病院）
- P2-5 ブラジル人学校の生徒の健康を支える支援モデルの構築～健康課題の抽出～
鳥居 賀乃子（日本赤十字豊田看護大学 看護学部）
- P2-6 ブラジル人学校の生徒の健康を支える支援モデルの構築 中高生への健康講座の実施と評価
谷口 純平（日本赤十字豊田看護大学 看護学部）
- P2-7 医療ICT化が推進される中でのケアの本質：特別養護老人ホームの看護師に焦点を当てて
八嶋 結（日本赤十字看護大学 看護学部）
- P2-8 終末期患者の自宅療養に向けた退院支援看護師の意思決定支援に関する実践
高橋 杏菜（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）

- P2-9 外国人患者との関わりを通じた看護学生の学びと課題
橋本 明実（日本赤十字看護大学 看護学部 看護学科）
- P2-10 「看護師の同僚性」；概念の再検討と構成要素の抽出
野村 悠美子（日本赤十字広島看護大学 看護学部）
- P2-11 看護師が専門看護師、認定看護師を目指す要因と専門看護師、認定看護師に求める支援
小林 沙央（松江赤十字病院）
- P2-12 初めての新任看護管理者研修の実施とその評価
福家 修子（高松赤十字病院）
- P2-13 口鼻腔吸引で用いる個人防護具に関する文献検討
堀部 光宏（日本赤十字看護大学さいたま看護学部）
- P2-14 多職種で活用する SOAT の作成 ～透析従事経験の浅い医療者の実施可能性の検討～
篠原 謙太（日本赤十字広島看護大学）
- P2-15 地域支援病院に通院する壮年期のがん患者を支援する看護師の協働的アプローチの構築：
SCAQ を活用したセルフケア支援に取り組む看護師の変化
中村 滋子（日本赤十字看護大学）
- P2-16 教育用 Web カルテを活用した慢性看護実習における看護大学生の学びと課題
鈴鹿 綾子（日本赤十字九州国際看護大学 看護学部 看護学科 成人看護（慢性期））
- P2-17 壮年期の脳血管疾患の人への急性期病院の看護支援・連携の現状と課題
竹山 美穂（湘南鎌倉医療大学）
- P2-18 浅い鎮静深度で管理されている人工呼吸器装着患者に対する睡眠支援
中島 佳緒里（相山女子学園大学 看護学部）
- P2-19 夜間災害に焦点をあてた机上シミュレーションとデブリーフィングが看護師の災害自己効力感に与える影響
大原 唯加（徳島赤十字病院 看護部 5 階北病棟）

2026年6月14日（日）

第1会場（広尾ホール）

テーマセッションⅡ 紛争地での赤十字の活動と安全管理

9:00～10:30

座長：内木 美恵（日本赤十字看護大学 国際・災害看護学 教授）

TS2-1 紛争下で安全に任務を遂行するために～暴力が支配する現場で苦しむ人びとに寄り添う ICRC の危機管理
眞壁 仁美（赤十字国際委員会 (ICRC) 駐日代表部 広報）

TS2-2 日本赤十字社から紛争地に派遣される要員の安全管理

ペティート タク（日本赤十字社 事業局 国際部）

TS2-3 ガザ地区での人道危機における看護活動と安全管理

川瀬 佐知子（大阪赤十字病院 救急科部）

TS2-4 紛争地における管理者としての安全管理

池田 載子（大阪赤十字病院 国際医療救援部）

テーマセッションⅢ 日赤の災害対応の未来（これから）—看護師にできることを考える— 10:45～12:00

座長：守田 美奈子（日本赤十字看護大学 基礎看護学 教授・学長）

TS3-1 日赤の災害対応から見た救護・復興・平時支援において看護師に期待すること

佐藤 展章（日本赤十字社 事業局 救護・福祉部）

TS3-2 日赤災害救護の視点から見た避難所・被災者への働きかけにおいて看護に期待すること

植田 信策（日本赤十字社 医療事業推進本部兼事業局救護・福祉部、日本赤十字看護大学附属災害救護研究所）

TS3-3 日赤の看護師による過去の支援とこれからの災害時の役割とは

内木 美恵（日本赤十字看護大学 国際・災害看護学 教授）

教育講演2 「コンピテンシーの三重モデル」と看護学教育モデル・コア・カリキュラム 13:15～14:15

演者：松下 佳代（京都芸術大学 学習支援・教育開発センター）

座長：佐々木 幾美（日本赤十字看護大学 副学長）

シンポジウム 赤十字看護の未来を拓く

14:30～15:45

座長：川原 由佳里（日本赤十字看護大学 教授）

渡邊 美香（日本赤十字社医療センター 看護部 看護部長）

SY-1 未来を切り開く赤十字の看護～厳しい医療環境のもとでの赤十字の看護の現在と未来～

川上 潤子（日本赤十字社 医療事業推進本部副本部長兼看護部長）

SY-2 働き方改革・タスク・シフト／シェア推進のなかでの看護の役割

井本 寛子（日本看護協会 前常任理事）

SY-3 将来の医療・看護需要をふまえた看護の変革の方向性

習田 由美子（厚生労働省 医政局看護課 看護課長）

開会式 優秀演題賞表彰

15:45～16:00

第2会場（201教室）

口演発表3群 看護教育・看護管理

9:30 ~ 10:30

座長：菖蒲澤 幸子（岩手保健医療大学 仙台看護学部開設準備室 教授）

- 03-1 看護学生が実習指導者とのかわりにおいて自分が成長したと思える指導
黒木 すず（日本赤十字看護大学 さいたま看護学部）
- 03-2 看護学生が看護実践につながったと感じる教員や実習指導者の指導
井野口 詩乃（日本赤十字看護大学 さいたま看護学部）
- 03-3 医療・教育機関協働のキャリア教育による看護学生の職業的アイデンティティの発達
佐々木 武志（石巻赤十字看護専門学校）
- 03-4 看護学生と実習指導教員による A 病院臨地実習の実習環境の実態
松本 瑞美（熊本赤十字病院）
- 03-5 入職前の職場体験プログラムにおけるライフプラン・グループワークの効果
ー 医療施設と大学との共同企画の実践報告 ー
間瀬 照美（横浜市立みなと赤十字病院）
- 03-6 中部ブロック赤十字病院の看護部長が認識する卒後キャリア形成支援の現状と課題
南谷 志野（日本赤十字豊田看護大学）

口演発表6群 老年看護・地域在宅看護

10:45 ~ 11:45

座長：松田 哲子（旭川赤十字病院 看護部 看護副部長兼医療支援センター副センター長）

- 06-1 急性期病院の看護師による病院関連サルコペニア防止のためのリスク予測と介入の判断
尾門 愛子（広島市立広島市民病院 看護部）
- 06-2 急性期一般病棟での身体拘束を選択しない看護の定着ー認知症看護認定看護師の実践ー
池田 雄太郎（旭川赤十字病院 5階みなみ病棟）
- 06-3 急性期一般病棟での身体拘束を選択しない看護の定着ー看護管理者としての実践ー
門脇 佳樹（旭川赤十字病院）
- 06-4 地域医療資源が限られた看護小規模多機能型居宅介護における看取り支援の困難さ
西 有美（浦河赤十字病院）
- 06-5 地域住民への多職種チームによる足の健やかさを高める足の健康相談の効果
伊藤 麻紀（日本赤十字看護大学大学院 博士後期課程）
- 06-6 復学後もフォローが必要な子どもと保護者、担任教員との継続的な連携に対する看護師の思い
摘田 琴乃（元日本赤十字看護大学 看護学部）

ランチョンセミナー 6

12:05 ~ 13:05

座長：岸 一馬（東邦大学医療センター大森病院 呼吸器内科 教授）

- LS6 多職種で支える EGFR 遺伝子変異陽性肺がんの最新治療
和久井 大（東京慈恵会医科大学 呼吸器内科 講師）
稲田 綾子（日本赤十字社医療センター がん化学療法看護認定看護師）

共催：Johnson&Johnson

口演発表 9 群 様々なフィールドでの看護実践**13:15 ~ 14:15**

座長：中島 佳緒里（相山女学園大学 看護学部 教授）

- 09-1 入院時重症患者メディエーターチームの介入実績から捉える患者家族の支援ニーズ
前田 万葉（日本赤十字社医療センター EHCU）
- 09-2 RRS の実践報告：看護師主導による 24 時間対応と全科対象運用
寺田 亜季子（日本赤十字社医療センター）
- 09-3 地域で暮らす精神障がいをもつ糖尿病患者とかかわる糖尿病看護認定看護師の実践
相馬 幸子（那須赤十字病院）
- 09-4 高齢者への訪問看護における連絡ノートの機能解明
ー在宅ケアのコミュニケーションに関する現象学的研究
細野 知子（日本赤十字看護大学 さいたま看護学部）
- 09-5 自記式化学療法問診票を用いた診察前問診における看護師の介入の実態調査
砂越 美穂（武蔵野赤十字病院）
- 09-6 国際派遣における事業管理要員としての実践ー臨床で勤務する看護師の取組
木本 涼（日本赤十字社 松山赤十字病院 看護部）

第 3 会場（301 教室）**ランチョンセミナー 7 間質性肺疾患の看護ケア～患者の意思決定支援（ACP）について考える～ 12:05 ~ 13:05**

座長：暮松 咲（日本赤十字社医療センター 看護部）

- LS7 間質性肺炎診療における ACP(Advance Care Planning) とは？
則末 泰博（東京ベイ・浦安市川医療センター 副センター長
呼吸器内科 部長 / 救急集中治療科（集中治療部門） 部長）
共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

第 4 会場（202 教室）**口演発表 4 群 看護管理・感染管理****9:30 ~ 10:30**

座長：佐藤 章子（福岡赤十字病院 看護部 看護部長）

- 04-1 急性期病棟におけるチーム機能別看護方式の導入による業務効率化の効果
佐々木 京子（総合病院 三原赤十字病院）
- 04-2 二次性骨折予防継続管理加算取得率 100%達成に向けた業務改善の取り組み
金谷 瞳（仙台赤十字病院）
- 04-3 地域包括ケア病棟におけるスリーマンセル式セル看護提供方式導入の効果
平 瞳（仙台赤十字病院）
- 04-4 産科外来における妊婦保健指導の業務改善～助産師外来の再開を目指して～
齊藤 恵里子（仙台赤十字病院）
- 04-5 日本の急性期病院における看護師の臨床的自律性と看護実践環境の関連
井本 寛子（日本看護協会）
- 04-6 麻疹事例を通じて見えた A 病院の職業感染対策の課題
佐藤 紗加（浦河赤十字病院）

口演発表 7 群 小児看護・助産母性看護

10:45 ~ 11:45

座長：新田 真弓（日本赤十字看護大学）

- 07-1 A 総合周産期母子医療センターにおける計画外抜管の背景
里見 順子（大津赤十字病院 NICU 病棟）
- 07-2 NICU の光環境の整備 ～安全に配慮した照度調節方法の検討～
松原 希美（仙台赤十字病院 看護部 NICU）
- 07-3 産後ケア事業継続利用に向けた助産院における助産師の工夫とその過程で感じる困難
藤井 梨子（日本赤十字看護大学大学院 看護学研究科 国際保健助産学専攻 実践コース）
- 07-4 死産を経験した父親へのグリーフケアに関する助産師の困難感
下川 遥南（日本赤十字看護大学 看護学部 看護学科）
- 07-5 日本赤十字社医療センターにおける水中分娩の実践報告
矢崎 早穂（日本赤十字社医療センター）
- 07-6 多職種連携チームによる心理・社会的ハイリスク妊産婦への支援
江藤 昌子（東京かつしか赤十字母子医療センター 看護部）

ランチョンセミナー 8 NTM 症

12:05 ~ 13:05

座長：川上 潤子（日本赤十字社 医療事業推進本部副本部長・看護部長）

- LS8-1 肺 NTM 症診療の最前線と多職種連携：包括ケアセンター開設による新たな挑戦
出雲 雄大（日本赤十字社医療センター 副院長・呼吸器内科部長・
NTM・気管支拡張症包括ケアセンター長）
- LS8-2 肺 NTM 症診療から拓く看護の未来～そのひとらしく生きることを支えるセルフケア支援の新展開～
渡邊 美香（日本赤十字社医療センター 看護部長）

共催：インスメッド合同会社

口演発表 10 群 慢性看護

13:15 ~ 14:15

座長：東 めぐみ（順天堂大学 保健看護学部 / 看護学研究科 客員教授）

- 010-1 がん領域に携わる看護師の視点による ACP の実践と医療従事者の役割
遠藤 ゆめ（日本赤十字看護大学 さいたま看護学部）
- 010-2 スピリチュアルケアを通して終末期がん患者の希望を支えられた関わり
梶原 宏貴（日本赤十字社和歌山医療センター）
- 010-3 心不全看護外来導入後のハイリスク患者における再入院率および再入院時重症度の検討
安田 花名子（広島赤十字・原爆病院 看護部）
- 010-4 消化器疾患を有する患者に対する看護師の ACP 実践とその課題
漆原 由佳（徳島赤十字病院 5 階西病棟）
- 010-5 パーキンソン病の便秘症状に対する腹部温電法の効果：無作為化比較試験による第一報
宮脇 健介（三宅医学研究所附属三宅リハビリテーション病院）

第5会場（206教室）

口演発表5群 小児看護・ストレス、ハラスメント

9:30 ~ 10:30

座長：中川 典子（神戸市看護大学）

- 05-1 乳児期の子どもをもつ精神疾患を有する母親への看護師の育児支援
日崎 真菜（横浜市立大学 医学部 看護学科）
- 05-2 NICU 退院後の医療的ケア児と親との愛着形成を促す看護師の関わり
明石 瑚幸（横浜市立大学 医学部 看護学科）
- 05-3 内服を嫌がる化学療法中の幼児前期小児がん患児への意欲を引き出す看護師の関わり
小山 葉月（横浜市立大学 医学部 看護学科）
- 05-4 看護大学生のストレスとメタ認知およびコーピングとの関連
山田 真綸（小倉記念病院）
- 05-5 大学生アルバイトがカスタマーハラスメントによって受ける影響
眞砂 朱里（日本赤十字看護大学 看護学部）

口演発表8群 看護教育・看護管理・急性期、慢性期看護

10:45 ~ 11:45

座長：小川 圭子（日本赤十字看護大学 看護学部 准教授）

- 08-1 赤十字の理念を基盤とした教育と学生の看護観形成・進路選択との関連
佐藤 桃夏（日本赤十字看護大学 看護学部）
- 08-2 中堅男性看護師の性別特有の課題への対処
石原 拓実（日本赤十字看護大学 さいたま看護学部）
- 08-3 女性患者が抵抗なく受け入れられる男性看護師の清潔ケアに関するナラティブ・レビュー
中平 悠斗（日本赤十字看護大学 さいたま看護学部）
- 08-4 がん患者・家族に対する急性期病院・病棟看護師の緩和ケア実践とその認識
青沼 千紘（日本赤十字看護大学 さいたま看護学部）
- 08-5 糖尿病療養者が旅行を楽しむ経験：当事者の語りから捉える旅行の意味
田中 優希（日本赤十字看護大学 看護学部 37 回生）

ランチョンセミナー 9

12:05 ~ 13:05

言語の壁を越えた医療コミュニケーションの実現に向けてー産科における定型案内の自動化と、遠隔医療通訳の連携 PoC

座長：坪田 康佑（日本男性看護師会 代表理事）

- LS9 産科の多言語コミュニケーションの最適化：定型案内自動化と遠隔通訳の連携による実践
重松 環奈（日本赤十字社医療センター 周産期外来 看護師長）
中田 紗来（株式会社 OPERe マーケティングチーム マネージャー）
北村 純（メディフォン株式会社 事業本部 mediPhone 事業部 事業部長）
坪田 康佑（一般社団法人 日本男性看護師会 代表理事）

共催：株式会社 OPERe、メディフォン株式会社

交流セッション 8

13:15 ~ 14:15

主催者 川畑貴寛 他

看護基礎教育における実習記録電子化のプロセスと評価

川畑 貴寛（日本赤十字広島看護大学）

第 6 会場（207 教室）**交流セッション 4**

9:00 ~ 10:30

主催者：川西美佐 他

教育と臨床、共に汗かき「現場を強く」―医療安全共同研究から紐解く連携の道筋―

川西 美佐（日本赤十字広島看護大学）

交流セッション 6

10:45 ~ 11:45

主催者：吉田理恵 他

新人の“はじめの一步”を支える―大学―病院協働による卒業前研修 3 年間の取り組み―

吉田 理恵（日本赤十字北海道看護大学）

交流セッション 9

13:15 ~ 14:15

主催者：日本赤十字看護学会 災害看護活動委員会

災害に備える「受援力」を育てる ～熊本地震に学ぶ平時の実践と人材育成～

林 裕典（京都第二赤十字病院）

第 7 会場（208 教室）**交流セッション 5**

9:00 ~ 10:30

主催者：日本赤十字看護学会 歴史研究委員会

ジェンダーの視点から見た、日本における赤十字看護師養成の歴史

武井 麻子（京都看護大学 大学院 博士後期課程）

交流セッション 7

10:45 ~ 11:45

主催者：日本赤十字看護学会 編集委員会

臨床実践報告を論文投稿へとつなげよう

本田 多美枝（日本赤十字九州国際看護大学、日本赤十字看護学会 編集委員会）

ランチョンセミナー 10 看護における穿刺・確認エコーのエビデンスと臨床実装 12:05 ~ 13:05座長：阿部 麻里（一般社団法人次世代看護教育研究所 研究・開発部 主任研究員、
東京大学医学部附属病院 看護部 ナースリサーチャー）**LS10 エコー穿刺教育が繋ぐ、育む、拓く未来**

～エコー下末梢静脈路穿刺院内認定制度で広げる穿刺・確認エコー～

三重野 雅裕（TMG 本部横浜支部 兼 医療法人社団伊豆七海会 熱海所記念病院 看護部）

共催：富士フイルムメディカル株式会社 / ニチバン株式会社